

# **個別事業説明書【PR版】**

**土 木 部**

# 1 地域高規格道路大洲・八幡浜自動車道整備事業費

令和8年度当初予算（案）  
予算額 1,214,736千円

大洲・八幡浜自動車道は、四国8の字ネットワークに直結し、地域産業の活性化や観光振興などを支援する「地方創生の道」であるほか、大規模災害発生時の「命の道」となるもので、自動車専用の高規格道路として整備を行う。

指標	施策	25 暮らしを支える地域交通の維持と基盤整備	現状値	81.9%（～R6年度累計）
		KGI 高速道路の整備率	目標値	83.6%（～R8年度累計）
	細施策	25-2 高速道路ネットワークの整備	現状値	81.9%（～R6年度累計）
		KGI 高速道路の整備率	目標値	83.6%（～R8年度累計）

お問い合わせ先  
土木部道路都市局  
道路建設課  
(089-912-2710)

事業イメージ	KPI 大洲・八幡浜自動車道の整備率	現状値 61%（～R6年度累計）
		目標値 63%（～R8年度累計）

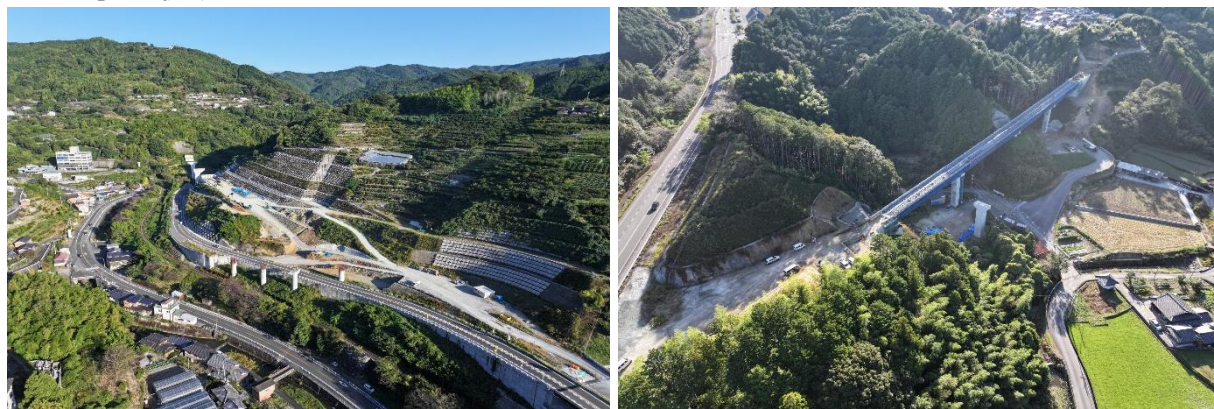


## 事業概要 (千円)

工区名	箇所	事業費	主な事業内容
よるひる夜昼道路	大洲市～八幡浜市 L=4.2km	1,156,842	トンネル工、橋梁上部工・下部工、用地補償
おおずし大洲西道路	大洲市 L=3.3km	57,894	橋梁下部工、用地調査
計		1,214,736	工事費負担割合：国5.5/10 県4.5/10

※債務負担行為限度額 13,950,000千円 (R9～R13：新夜昼トンネル建設工事)

## ＜工事の状況＞



【夜昼道路（八幡浜東I C）】

【夜昼道路（平野I C）】





## 2 運転支援等交通安全施設緊急整備事業費

令和8年度当初予算（案）  
予算額 270,212千円

交通事故の発生要因や、自動車の安全運転支援機能の向上など社会環境の変化を捉えた交通安全対策を推進し、県内の交通事故を抑制するとともに、事故発生時の被害の軽減を図る。

お問い合わせ先  
土木部道路都市局  
道路維持課  
(089-912-2720)

指標

施策

33 交通安全対策の推進

KGI

交通事故死者数

現状値

52人（R6年）

目標値

33人（R8年）

細施策

33-2 県管理道路における安全かつ快適な交通の確保

KGI

令和3年度通学路合同点検結果による要対策箇所対策完了率

現状値

80.0%（～R6年度累計）

目標値

90.0%（～R8年度累計）

事業イメージ

KPI

県管理道路における交通事故死者数  
（施策KGIと同水準の目標値とする）

現状値

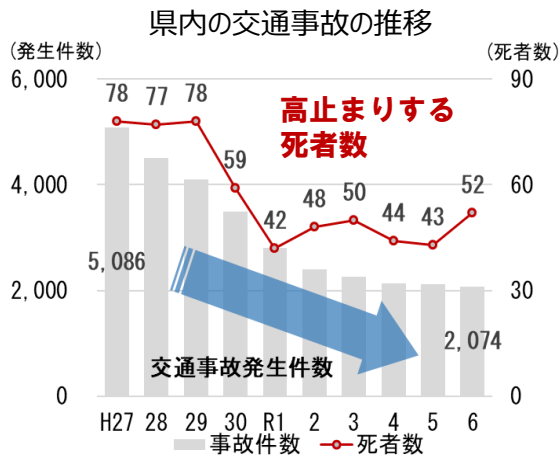
21人（R7年速報値）

目標値

11人（R8年）

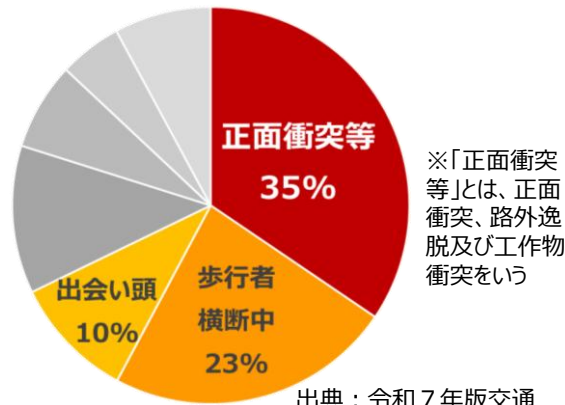
【現状の分析・課題（背景）】

【交通事故の発生状況】



出典：交通年鑑（令和6年）【愛媛県警察本部】

事故類型別交通死亡事故発生割合  
令和6年発生事故（全国）



※「正面衝突等」とは、正面衝突、路外逸脱及び工作物衝突をいう

出典：令和7年版交通安全白書【内閣府】

【交通安全に関する社会環境の変化】

安全運転支援機能の普及

車線逸脱防止システム等の安全運転支援技術を搭載した車の普及

➤ 交通安全施設の重要性の高まり

新技術の開発

近年、ドライブレコーダーやスマホのAI画像診断を活用した道路異常検知技術の開発が加速

【施策の方向性】

事故の発生要因

社会環境の変化 物価の高騰



- ①交通安全施設の適切な更新
- ②危険箇所の効果的な対策
- ③迅速かつ効率的な維持管理

事業概要

1. 事業期間 5か年計画（令和8年度～令和12年度）

2. 令和8年度事業内容

①安全運転支援機能を最大限発揮できる道路環境の整備 138,298千円

摩耗した区画線 124km  
（剥離率60%以上）



適切に更新



安全運転支援機能  
最大限発揮

②危険箇所の効果的な交通安全対策 121,276千円

i. 道路植栽の適正化

110,638千円

道路樹木の  
剪定頻度低下

➤ 視距障害等  
支障木



事故リスクの  
回避



効果的な交通安全対策  
i. 支障植栽の撤去等

ii. 「潜在的」危険箇所の対策

10,638千円

事故履歴  
急ブレーキ  
走行速度



➤ データ分析



潜在的な  
危険箇所抽出



ii. 交差点カラー舗装化等の  
検討

③新技術を活用した迅速かつ効率的な維持管理

10,638千円

道路パトロール



AI画像診断  
（ドラレコ・スマホ）



迅速かつ効率的な維持管理

3 紫電改展示館リニューアル事業費

令和8年度当初予算（案）  
予算額 621,469千円

国内で唯一現存する紫電改。老朽化が進む現展示館をリニューアルし、貴重な実機を未来につなげ「恒久平和の大切さ」を改めて広く伝えるとともに、一連のプロジェクトを通じて紫電改を全国へPRし、地域外から人を呼び込むなど交流人口の拡大による南予地域の活性化を推進する。

指標	施策	20 本県ならではの魅力ある観光まちづくりの推進 KGI 日本人延べ宿泊者数	現状値 3,921千人（R6年） 目標値 4,900千人（R8年）
	細施策	20-4 各都市公園の魅力向上 KGI 各都市公園の年間来訪者数合計	現状値 2,314千人（R6年度） 目標値 2,633千人（R8年度）

お問い合わせ先  
土木部道路都市局  
都市整備課  
(089-912-2745)

事業イメージ	KPI 再編整備進捗率 (R8に新展示館が完成する進捗を目指す)	現状値 10%(R5～6年度累計) 目標値 98%(R5～8年度累計)
--------	-------------------------------------	--

▶新紫電改展示館概要（愛媛県南宇和郡愛南町）

コンセプト

恒久平和の大切さを伝える公園（平和学習の場を提供）

【概要】

- ・平和への「くさび」をイメージした三角形の特徴的な外観
- ・海と空、実機を同時に眺められる建築計画
- ・鉄筋コンクリート造（一部木造、鉄骨造）2階建て、延べ床面積約691m2

紫電改展示館リニューアル 事業計画

内 容	R5	R6	R7	R8	R9
詳細設計(新紫電改展示館)					
造成工事					
新紫電改展示館新築建設					
実機移設関係					
旧建屋解体					
外構(駐車場、周辺整備)					
デジタル展示製作(追加分)					

事業概要	【地域未来交付金充当事業】
------	---------------

【R8年度事業内容】

- 新展示館整備（建屋・展示）433,723千円  
新展示館新築、工事監理、展示製作
- 紫電改実機の移設 34,062千円 ※寄附金相当額充当（17,031千円）  
移設用架台の製作・設置、機体移設
- 旧展示館解体工事 40,000千円
- 外構工事 40,000千円
- デジタル展示の製作（追加） 60,584千円 ※寄附金相当額充当（30,292千円）  
デジタル展示製作（3Dデータ化、資料のアーカイブ化、オーディオガイド等）、Wi-Fi整備
- 備品購入・引越し 13,100千円  
ベンチ・プロジェクター等購入、部品等引越し

合計 621,469千円（うち紫電改クラウドファンディング（R7）寄附金相当額 47,323千円）

新紫電改展示館 イメージパース



4 とべもり+（プラス）エリア交流拡大推進事業費

とべもり+（プラス）エリア全体の魅力向上と相互施設の周遊を促進するため、従来の取組みに加え、とべもり+（プラス）4施設が連携したオランウータン来園記念イベントを実施する。				お問い合わせ先 土木部道路都市局 都市整備課 (089-912-2745)	
指標	施策	20 本県ならではの魅力ある観光まちづくりの推進 <b>KGI</b> 日本人延べ宿泊者数	現状値 3,921千人（R6年） 目標値 4,900千人（R8年）		
	細施策	20-4 各都市公園の魅力向上 <b>KGI</b> 各都市公園の年間来訪者数合計	現状値 2,314千人（R6年度） 目標値 2,633千人（R8年度）		

事業イメージ

KPI

とべもり+（プラス）2施設以上の周遊者数  
（過去最高周遊者数（R4:299,691）の8%増を目指す）

現状値 311,634人（R6年度）  
目標値 324,000人（R8年度）

とべもり+各施設の魅力・特徴を生かし連携して相乗効果による集客力向上を図る



とべ動物園



総合運動公園



えひめこどもの城



えひめ森林公園



1. スマホアプリとべもり+ナビ



TobemOri+  
とべもり+（プラス）  
tobe wonder town

2. とべもり+イルミネーション



とべ動物園



総合運動公園



えひめこどもの城

3. 4施設連携イベント

「とべもり+」で遊んで学ぶ  
体験型イベント  
とべもり+GO!GO!WEEKS

【メインイベント】  
総合運動公園  
・とべもり+出前ブース  
・スポーツ、工作体験など

【施設イベント】  
とべ動物園

【施設イベント】  
こどもの城

【施設イベント】  
森林公園

子どもたちに豊かな体験  
機会を提供し、とべもり+  
の魅力を再発見してもらう



とべもり+エリアの活性化！

事業概要

1 スマホアプリとべもり+ナビの運用 2,353千円

とべもり+ 4 施設の情報を一体的かつ効果的に発信するPRツールとして引き続き活用。

2 とべもり+イルミネーションの実施 8,501千円

とべもり+ 3 施設においてイルミネーションを実施。とべもり+の恒例イベントとして一体的に広報し、点灯式などのイベントを実施することで、エリア全体の活性化につなげる。

3 4施設連携イベントの実施 9,890千円

とべもり+ 秋のイベントとして、各施設の特徴や魅力を生かしたリアルイベントを集中的に実施し、エリア全体の魅力向上と相互施設の周遊や誘客を促進する。期間中、メインイベント「とべもり+GO!GO!フェスタ」を開催。

4 オランウータン来園記念イベントの実施【新規】 3,380千円

県とインドネシア共和国の間で締結した共同保護を目的とした協定に基づきとべ動物園にオランウータンが導入されたことを記念して、とべもり+の4施設において「オランウータン」をテーマにしたワークショップなどのイベントを実施。  
（実施内容案）・オランウータンをテーマにしたお絵描きや工作などのワークショップ  
・オランウータンの動きを取り入れた体験型アクティビティ など



5 とべ動物園の将来を見据えた魅力向上事業

令和8年度当初予算（案）  
予算額 540,125千円

少子化やレジャーの多様化などの影響による来園者数の減少に対応するため、魅力ある獣舎の整備、魅力ある展示動物の導入、Webを活用したマーケティングや各種誘客イベント等の実施により、来園者数の増加を目指す。				お問い合わせ先 土木部道路都市局 都市整備課 (089-912-2745)	
指標	施策	20 本県ならではの魅力ある観光まちづくりの推進 KGI 日本人延べ宿泊者数	現状値 3,921千人（R6年） 目標値 4,900千人（R8年）		
	細施策	20-4 各都市公園の魅力向上 KGI 各都市公園の年間来訪者数合計	現状値 2,314千人（R6年度） 目標値 2,633千人（R8年度）		

事業イメージ

KPI 右表のとおり

現状値 右表のとおり  
目標値

【課題】

施設の老朽化・動物福祉への配慮が不足している獣舎

入園者数の減少（少子化、人口減少等）

動物の高齢化や個体数の減少

【対策】

動物・来園者に配慮した施設整備（とべ動物園施設整備費）

イベント等魅力発信（とべ動物園魅力向上戦略推進事業）

展示動物の維持（とべ動物園展示動物等購入費）

高い「とべ動物園ブランドロイヤルティ」の獲得  
とべ動物園に愛着をもってもらい来園者増加につなげる  
R8年度入園者数55万人を目指す。

とべ動物園来園者数

来園者数は減少傾向

【獣舎整備】（オランウータン舎）

整備イメージ

【展示動物の導入】

【冬季：イルミネーション】

※その他 Webによる情報発信などを実施

事業概要

【地域未来交付金充当事業】  
【とべ動物園魅力向上基金充当事業】

●とべ動物園魅力向上戦略推進事業費 23,601千円  
《オランウータン来園1周年イベント》来園1周年を祝したインドネシア交流イベント  
《とべZOOイルミネーション2026》9年目を迎える好評イベント  
《Webによる情報発信（とべもり+（プラス）4施設連携）》

●とべ動物園施設整備費 430,000千円  
《オランウータン舎整備》  
インドネシアから導入したオランウータンの生活環境改善や魅力向上のための新獣舎を整備  
《サル・ヒヒ舎整備方針検討・設計》  
老朽化が進行しているサル・ヒヒ舎整備の方針検討・設計を実施  
《魅力を向上させる獣舎改修》  
生息環境を可能な限り再現し、行動展示を促す獣舎改修を実施

●とべ動物園展示動物等購入費 86,524千円  
《動物の購入・医療器具等の購入》  
多種多様でバランスのよいとべ動物園の展示コンセプトを活かすための動物を購入  
また、動物の健康管理強化等に必要な医療器具等を購入 等

【KPI】

事項名	KPI
とべ動物園魅力向上戦略推進事業費	KPI とべ動物園来園者満足度（計画に掲げるR9年度目標85%に基づき設定） 現状値 81%（R6年度） 目標値 83%（R8年度）
とべ動物園施設整備費	KPI 年度当初に改修を予定していた獣舎数に対する改修実施率（魅力が向上する獣舎改修を実施する） 現状値 -（R6年度） 目標値 100%（R8年度）
とべ動物園展示動物等購入費	KPI 展示動物の種類数（中四国で最も豊富な種類の動物を展示する） 現状値 144種（R6年度） 目標値 147種（R8年度）

6 公営住宅（北条地区）集約整備事業費

令和8年度当初予算（案）  
予算額 1,126,871千円

愛媛県と松山市が連携することにより、松山市北条地区内にある老朽化等が著しい県営住宅鹿峰団地（S42～45年度建設）と市営住宅5団地（S35～41年度建設）の集約建替事業を実施する。


指標	施策	26 公共施設の適正なマネジメント <b>KGI</b> 県の管理する公共施設等の管理不備・老朽化に起因する重大事故発生件数	現状値 0件（R6年度） 目標値 0件（R8年度）
	細施策	26-3 県営住宅の適正管理、老朽化対策の推進 <b>KGI</b> 県下県営住宅の新耐震基準を満たす住戸率	現状値 86.71%（R7年度） 目標値 89.21%（R8年度）

お問い合わせ先  
土木部道路都市局  
建築住宅課  
(089-912-2755)

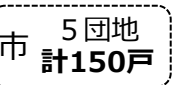
事業イメージ

KPI 集約整備率


現状値 64.2%（R8.1時点）  
目標値 100%（R9年度）




県 鹿峰団地  
142戸



市 5団地  
計150戸



1号棟(1期)工事完成 (R6.6月完成)



1号棟（鉄筋コンクリート造8階建）R6.6月完成

2号棟（鉄筋コンクリート造7階建）

事業概要

1 敷地  
市営住宅新開団地（松山市北条辻807、957）

2 構造・階数等  
1号棟：鉄筋コンクリート造8階建（1期：62戸+集会所）**R6完成**  
2号棟：鉄筋コンクリート造7階建（2期：42戸）  
計：2棟104戸（集会所共）

3 事業期間  
R3～9年度（7年間）

4 事業費  
R8年度実施分 2期工事建設費（2ヶ年目分） 1,126,568千円  
既存入居者移転費等 303千円

総事業費 35.7億円

<事業の全体スケジュール>

	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
第1期工事	1期設計		1期工事				
第2期工事			2期設計			2期工事	
移転	他公営住宅 等への移転			1期移転			2期移転
解体						解体設計	解体工事



7 民間住宅等防災・減災対策事業

令和8年度当初予算（案）  
予算額 289,670千円

近い将来発生が懸念されている「南海トラフ地震」に備え、民間住宅等の耐震化を行う防災・減災対策を積極的に推進する。  
また、能登半島地震の木造住宅への被害が甚大であったことから、耐震診断、耐震改修設計、耐震改修工事、ブロック塀の除却・建替並びに特定老朽空家除却に係る市町への補助を実施し、県民の安全・安心を確保する。

お問い合わせ先  
土木部道路都市局  
建築住宅課  
(089-912-2755)

指標

指標	施策	29 大規模災害に備えたまちづくり	現状値	16,032人（H25年）
	KGI	災害想定死者数	目標値	2,439人
指標	細施策	29-10 民間住宅等の倒壊の予防	現状値	86.4%（R5.10時点）
	KGI	住宅の耐震化率	目標値	91.0%（R8年度）

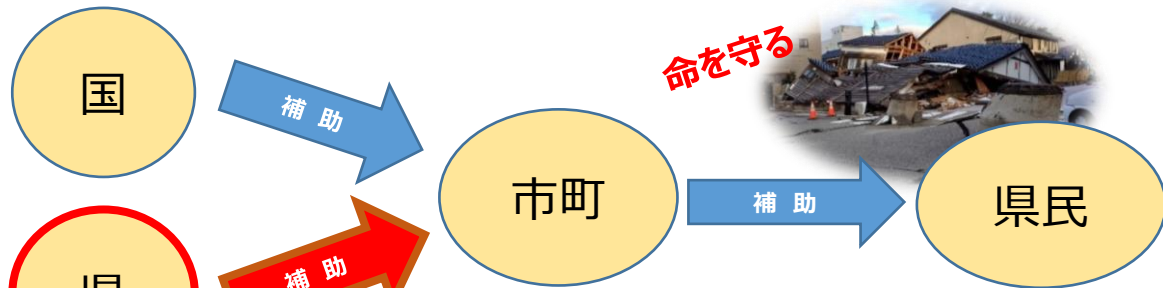
事業イメージ KPI 右表のとおり 現状値 目標値 右表のとおり

大地震に備えた防災・減災対策

耐震診断・  
耐震改修設計

耐震改修工事

ブロック塀等  
安全対策



○市町の負担の一部を  
県が負担

- 耐震・耐風改修工事、耐震診断、  
耐震改修設計
- ブロック塀等安全対策
- 特定老朽危険空家等の除却を支援

- 大地震時等の自宅・ブロック  
塀・空き家の倒壊が心配
- 住宅耐震化、ブロック塀等の  
安全対策をしたい

事業概要 【災害に強い愛媛づくり基金充当事業】

○木造住宅耐震化促進事業費 188,520千円 ※昭和56年5月以前に着工した旧耐震基準の木造戸建て住宅が対象			
補助内容	補助限度額（1件あたり）	県負担割合	想定件数
耐震改修	1 1 5 万円	1 / 4	420
耐風改修（耐震改修への加算）	5 5 万 2 千円		80
耐震診断（技術者派遣）	7 万 4 千円		830
耐震改修設計	2 0 万円	1 / 2	420
○ブロック塀等安全対策事業費 18,750千円			
補助内容	補助限度額（1件あたり）	県負担割合	想定件数
倒壊の危険性があるブロック塀の除却・建替え	3 0 万円	1 / 4	250
○特定老朽危険空家等除却促進事業費 82,400千円			
補助内容	補助限度額（1件あたり）	県負担割合	想定件数
特定老朽危険空家等の除却	8 0 万円	1 / 4	352

※上記はいずれも代表的な市町における例で、補助額は国・県・市町を合計したもの。市町により異なる補助額が設定されている場合がある。

【参考】 建築物安全安心普及促進事業費(4,614千円)

- ・県民にとって安全安心な居住環境の促進を図るため、木造住宅耐震化補助制度の積極的な活用を普及啓発
- 空家対策推進支援事業費(1,135千円)
- ・空き家対策の推進を図るため、空き家の除却、維持管理、活用等を普及啓発

事 項 名	K P I			
木造住宅耐震化促進事業費	KPI	当該年度に耐震改修等が必要な木造住宅への対応率	現状値	100%（R6年度）
			目標値	100%（R8年度）
ブロック塀等安全対策事業費	KPI	当該年度に安全対策が必要なブロック塀等への対応率	現状値	100%（R6年度）
			目標値	100%（R8年度）
特定老朽危険空家等除却促進事業費	KPI	当該年度に除却が必要な特定老朽危険空家等への対応率	現状値	100%（R6年度）
			目標値	100%（R8年度）



8 山鳥坂ダム建設費負担金

令和8年度当初予算（案）  
予算額 2,095,800千円

肱川流域は、洪水により頻繁に浸水被害が発生していることから、流域全体で行う複合的な対策の一つとして、流域の治水安全度の向上を図るため、国が行う山鳥坂ダム建設事業への負担金を支出する。

指標	施策	29 大規模災害に備えたまちづくり KGI 災害想定死者数	現状値	16,032人（H25年）
			目標値	2,439人
	細施策	29-7 河川災害の予防 KGI 河川整備率	現状値	46.5%（～R6年度累計）
			目標値	46.1%（～R8年度累計）

お問い合わせ先  
土木部河川港湾局  
河川課  
(089-912-2670)

事業イメージ	KPI	山鳥坂ダム建設事業進捗率 （事業費進捗を基に算定）	現状値	41.4%（～R7年度累計（見込））
			目標値	42.5%（～R8年度累計）

○治水

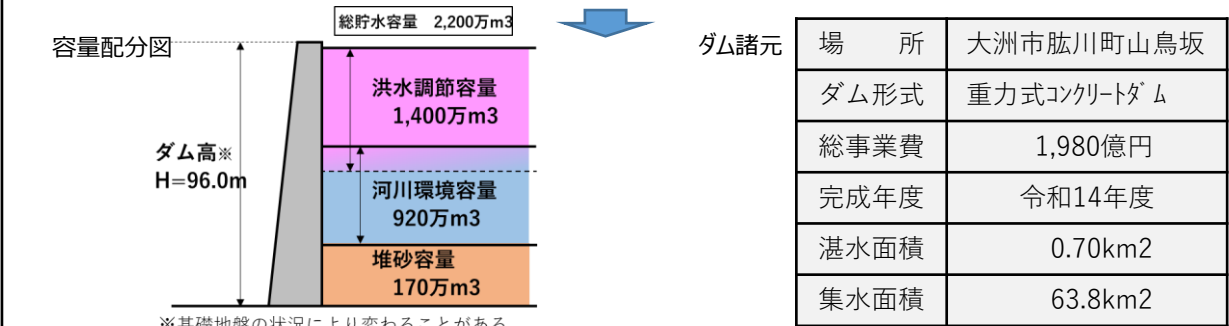
過去にも浸水被害が頻発しており、平成30年7月豪雨では、大洲市全域で甚大な被害が発生



○利水

平素の河川流量の減少が課題であり、動植物の生息や生育、景観等に必要な正常流量の確保が必要

洪水調節、流水の正常な機能の維持のために山鳥坂ダムを建設



事業工程	工種	年度	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
本体 関連	転流工(仮排水トンネル)													
	ダム本体基礎掘削工													
	ダム堤体コンクリート打設													
	試験湛水													
補償 関連	付替県道	一次切替												
		二次切替												

出典：山鳥坂ダム工事事務所 ダム事業費等監理委員会資料を一部加工

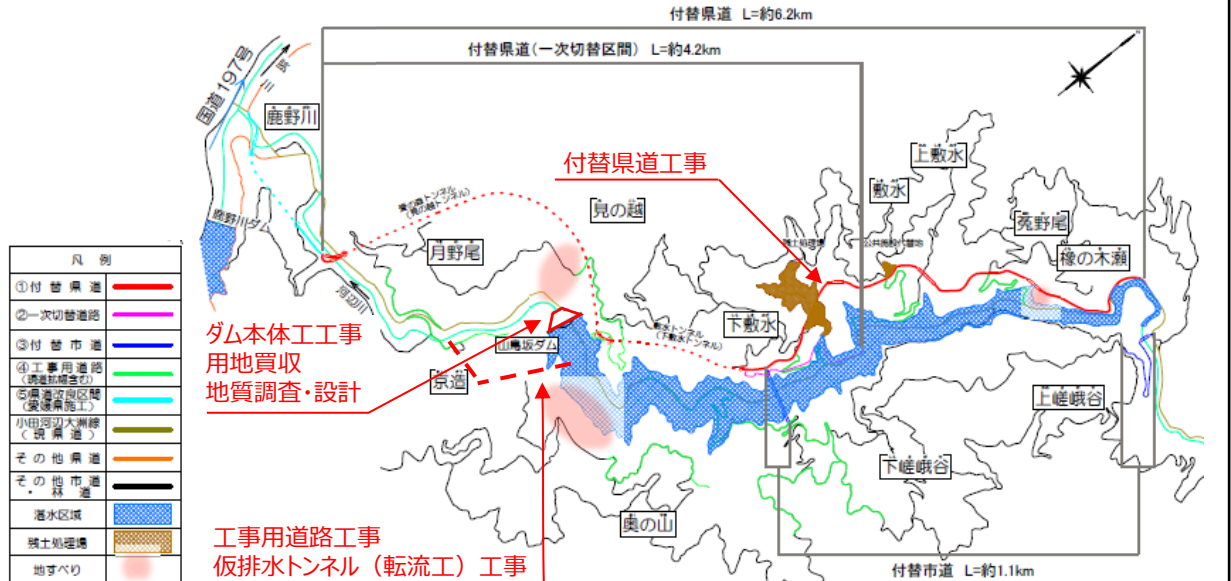
事業概要

○事業内容

- ①工事費 ダム本体工工事、ゲート設備工事等に要する経費
- ②測量設計費 ダム関連施設設計等に要する経費
- ③用地費及び補償費 用地買収や付替県道等の補償工事に要する経費

○負担率 国7/10 県3/10

【事業目標】 令和14年度の事業完了による肱川の治水安全度の向上



9 県単独緊急防災・減災対策事業

令和8年度当初予算（案）  
予算額 4,460,000千円

切迫性が増している「南海トラフ地震」や近年、激甚化・頻発化する豪雨災害に備え、県民の安全・安心を確保するため、避難道路や河川、砂防施設等の整備を緊急に行う県独自の防災・減災対策を積極的に推進する。					
指標	施策	26 公共施設の適正なマネジメント	KGI	県の管理する公共施設等の管理不備・老朽化に起因する重大事故発生件数	現状値 0件(R6年度) 目標値 0件(R8年度)
	細施策	右表のとおり	KGI	右表のとおり	
	施策	29 大規模災害に備えたまちづくり	KGI	災害想定死者数	現状値 16,032人(H25年) 目標値 2,439人
	細施策	右表のとおり	KGI	右表のとおり	

お問い合わせ先	
土木部河川港湾局	河川課 (089-912-2670)
	港湾海岸課 (089-912-2690)
	砂防課 (089-912-2700)
土木部道路都市局	道路建設課 (089-912-2710)
	道路維持課 (089-912-2720)

事業イメージ	KPI 右表のとおり	現状値 右表のとおり 目標値 右表のとおり
--------	------------	--------------------------

激甚化・頻発化する大規模地震や豪雨災害



能登半島地震 令和6年1月



松山市 令和6年11月

○能登半島地震等を踏まえた交通網の整備

災害時に孤立集落等の発生の恐れがある県管理道路の改良・法面对策等

約20億円



法面工

○洪水に強い人命・財産を守る河川整備

土砂の堆積が著しい箇所への河床掘削、ダムへの堆砂除去、堤防補強等の地震・津波対策

約11億円



河床掘削

○命を守る土砂災害対策の推進

砂防施設の整備や機能維持を行うための土砂撤去等

約8億円

○津波や高潮に強い海岸施設等の整備

防波堤や護岸、岸壁等の施設の機能強化

約6億円

事業概要			
細施策名・事項名【担当課】	予算額(千円)	事業の内容	細施策KGI・KPI
【細施策26-5】 河川・ダムの適正な管理による水災害の抑止			
ダム貯水池保全緊急対策事業費【河川課】	300,000	洪水調節容量内の堆砂除去 鹿森ダム(新居浜市)	KGI 河川・ダム施設稼働率 現状値 100%(R6年度) 目標値 100%(R8年度) KPI 洪水調節容量内の堆砂除去の進捗率 (ダムの洪水調節機能の回復を図るために必要な進捗率を設定) 現状値 - 目標値 13.8%(R8年度)
【細施策26-6】 港湾の適正管理			
港湾施設防災・減災対策事業費【港湾海岸課】	245,000	防波堤や浮桟橋等の港湾施設の補強、改良(重)三島川之江港(四国中央市)など27箇所	KGI 港湾施設の管理不備により港湾の利用(通常の荷役作業等)に支障を与えた件数 現状値 0件(R6年度) 目標値 0件(R8年度) KPI 港湾施設の補修進捗率 (R10までに対策が必要な港湾施設の整備完了を目指す) 現状値 61%(R3～6年度累計) 目標値 88%(R3～8年度累計)
【細施策29-7】 河川災害の予防			
河川防災緊急対策事業費【河川課】	231,000	重要水防箇所等の河床掘削 (二)長尾谷川(松前町)など56箇所	KGI 河川整備率 現状値 46.5%(～R6年度累計) 目標値 46.1%(～R8年度累計) KPI 土砂堆積箇所実施率 (70%/年 以上を目指す) 現状値 70.7%(R6年度) 目標値 70%(R8年度)
流域治水対策推進事業費【河川課】	601,000	市町と連携した治水対策の推進等 (二)蒼社川(今治市)など68箇所	KPI 対象工事の進捗率 (7%/年 増を目指す) 現状値 35.5%(～R6年度累計) 目標値 49.5%(～R8年度累計)
【細施策29-8】 津波・高潮災害の予防			
海岸施設防災・減災対策事業費【港湾海岸課】	297,000	浸水被害防止のための水門・陸間等の補修等 下泊南海岸(西予市)など20箇所	KGI 基半年から目標年に整備する海岸施設により高潮や津波浸水から守られる地域の面積 現状値 9,013ha(～6年度累計) 目標値 9,014ha(～8年度累計) KPI 海岸保全施設の補修進捗率(長寿命化計画における対策が必要な施設の整備率15.5%増を目指す) 現状値 33.5%(H30～R6年度累計) 目標値 42%(H30～R8年度累計)
【細施策29-9】 土砂災害の予防			
集落・避難路保全斜面地震対策事業補助金【砂防課】	191,300	市町が行うがけ崩れ防災対策事業の補助 大浦-3地区(松山市)など7市町14箇所	KGI 土砂災害防止施設により土砂災害から保全される人家戸数 現状値 8,495戸(H25～R6年度累計) 目標値 9,508戸(H25～R8年度累計) KPI 集落・避難路保全斜面地震対策事業によって保全される人家戸数 (37戸/年 以上を目指す) 現状値 701戸(H25～R6年度累計) 目標値 764戸(H25～R8年度累計)
砂防施設防災・減災対策事業費【砂防課】	618,300	砂防設備等の機能維持等 (砂)神田川(宇和島市)など72箇所	KPI 要対策箇所の修繕率 (5%/年 増を目指す) 現状値 39%(R1～6年度累計) 目標値 53%(R1～8年度累計)
【細施策29-11】 道路防災減災			
地震防災関連道路緊急整備事業費【道路建設課】	1,084,000	緊急輸送道路等の県管理道路の改築 (国)194号(西条市)など92箇所	KGI 要対策箇所における対策完了率 現状値 67.9%(～R6年度累計) 目標値 69.0%(～R8年度累計) KPI 二次緊急輸送道路の改良率 (0.2%/年 増を目指す) 現状値 85.9%(～R6年度累計) 目標値 86.6%(～R8年度累計)
道路防災・減災対策事業費【道路維持課】	892,400	原発避難道路等の法面对策や路面補強等 (主)長浜中村線(大洲市)など99箇所	KPI 防災点検における要対策箇所の解消率 (1%/年 増を目指す) 現状値 71%(～R6年度累計) 目標値 74%(～R8年度累計)